

目 次

I 環境センターの概要	
1. 沿 革	1
2. 庁舎の概要	1
3. 組織及び事務分掌	2
4. 職員配置	3
5. 決 算	3
6. 主要機器	4
II 業務概要	
1. 監視・情報班	7
1.1 大気汚染の常時監視	7
1.2 環境情報の提供	8
2. 化学物質班	9
2.1 大気中揮発性有機化合物(VOCs)のモニタリング調査	9
2.2 公共用水域水質調査	9
2.3 ゴルフ場農薬水質環境実態調査	9
2.4 地下水調査	9
2.5 工場排水基準検査	9
2.6 産業廃棄物処分場排水等検査	9
2.7 化学物質環境汚染実態調査	9
3. 大気・水質班	10
3.1 ばい煙排出基準検査	10
3.2 使用燃料油の硫黄分検査	10
3.3 騒音・振動調査	10
3.4 酸性雨調査	11
3.5 森林地帯における酸性成分の乾性沈着に関する調査研究	11
3.6 有害大気汚染物質(重金属)モニタリング調査	11
3.7 公共用水域水質環境基準調査	13
3.8 八郎湖水質保全対策事業	21
3.9 十和田湖の水質・生態系管理に関する調査	22
3.10 玉川酸性水影響調査	22
3.11 人工湖(山瀬ダム)の水質汚濁機構解明に関する調査研究	23
3.12 特定水域水質調査	24
3.13 土壤汚染対策調査(カドミウム汚染米調査)	26
3.14 休廃止鉱山対策調査	26
3.15 廃棄物行政検査	26
3.16 汚染井戸周辺地区調査	26
3.17 緊急調査	27
3.18 環境測定分析統一精度管理調査	29
3.19 アオコ毒素等水質動態調査	29

III	調査・研究報告	
	・平成12年度大気汚染常時監視の測定結果について	31
	・三宅島火山ガスの影響による秋田県内の二酸化硫黄高濃度事例 とその対応について	44
	・平成12年度大気中揮発性有機化合物(VOCs)モニタリング調査	48
	・パッシブサンプラー(短期暴露拡散型サンプラー)の長期間暴露への適応検討	52
	・平成12年度森林地帯における酸性成分の乾性沈着に関する調査研究	56
	・人工湖(山瀬ダム)の水質汚濁機構の解明に関する調査研究(平成10~12年度)	61
	・八郎湖のアオコ毒素等水質動態調査(平成10~12年度環境省委託調査)	73
	・間欠式空気揚水筒周辺の水質・底質調査(平成6~12年度)	79
IV	発表業績一覧	
1.	学会誌等掲載論文	95
	・CHARACTERIZATION OF FINE PARTICLE COMPONENTS IN MEXICO CITY	95
	・ポリスチレンゲルと活性炭系ディスクを多層化した固層抽出/ガスクロマト グラフィー/質量分析法による水中の親水性及び疎水性農薬の同時定量	95
	・環境データ解析用表計算マクロの紹介と解析例(I)-アンダーセン・サンプラー 解析アドイン-	95
	・Bio-PIXE その理論と応用, 第9章 環境科学への応用 (2)大気粉じん中元素の日内変動	96
	・Bio-PIXE その理論と応用, 第9章 環境科学への応用 (3)降水中不溶成分の多元素同時分析	96
	・白神山地世界遺産登録地域内におけるブナの開葉から落葉までの葉内 元素組成の変化	96
2.	学会等発表	97
	・CHEMICAL CHARACTERIZATION OF PARTICLES IN WINTER-NIGHTTIME SMOG IN TOKYO	97
	・CHANGE OF ELEMENTAL COMPOSITION IN BEECH LEAVES WITH GROWTH AT SHIRAKAMI-SANCHI WORLD HERITAGE AREA	97
	・大気中エアロゾルの表面有機化合物質量スペクトルパターンによるタイプ 分析の試み	98
	・ステンレスキャニスターにおける VOCs 44化合物の保存性の検討	98
	・短期暴露拡散サンプラーの長期間暴露の検討	98
	・北国の山地における大気中浮遊粒子の元素と形態的特徴	99
V	研修・学会等、その他	
1.	研修・学会出席、講師派遣等	101
2.	実習生及び見学者受入状況	101
3.	環境学習室・資料利用等の状況	102